

団体名	NPO法人ASTA		活動タイトル	教育現場・家庭におけるLGBT（性的マイノリティの啓発活動）
<p>1年間の活動（アウトプット）の目標（事業全体）</p>	<p>1.LGBT出張授業（年60回実施） 2.LGBT講演会 ・10月「みんなで保護者会」 ・第70回人権週間の期間・NQAPIA（全米アジア・太平洋諸国クイア連盟）参加予定 3.当事者のための企画運営（LGBT成人式）2月10日</p>			<p align="center">■ 活動風景</p>
	<p align="center">■ 活動報告</p> <p>1.LGBT出張授業：年間90回実施 月平均5回の目標から月7回から8回の実施となった。小学生への出張授業が増え、新しく小学生に授業を行うメンバーのスキルもアップしが定着してきた。</p> <p>2.LGBT講演会 ・10月「みんなで保護者会」 トランスジェンダーのことについて医療現場の研究者と当事者の先輩の講演から保護者や保健士、養護教諭、当事者も交えての対話形式の講演となった。 ・6月19日 NQAPIA（全米アジア・太平洋諸国クイア連盟）交流会 昭和高校の出張授業をNQAPIAと共に参加、その後のグループワークにて外国の現状を現地の活動家の生の声で高校生に伝えることができた。授業後の交流会では国際的なLGBTQの活動や現状を詳しく講演、愛知県内のLGBTQの活動団体とも一緒に今後の取り組みへの意識を共有することができた。</p> <p>3.当事者のための企画運営 ・LGBT成人式 2月10日 名古屋能楽堂 来場者60人/スタッフ20人/1歳から熟年層、海外から留学生の方等参加 ・名古屋レインボープライド協力参加 7月7日</p>	<p align="center">■ 1年間の目標に対する達成状況</p> <p>1.LGBT出張授業 ・出張授業の回数としては年間目標60回のところ90回の実績となり、かなり増えてきた状況である（2018年9月から2019年8月） ・学校関係が増え、小学生に直接行くことも増えてきて、依頼が広がってきた。 【実施期間：2018年4月から2019年3月、出張授業回数78回、参加者数：9245人】 ・生徒（中学生・高校生）と一般（大学生以上）に対して、抵抗感の側面から性的マイノリティについてアンケート調査を授業実施前後に実施したところ、授業前には抵抗があったが、授業後は「抵抗がない」と回答した人は、全体の7割であった。「少し抵抗」があったが授業後は、「抵抗がなくなった」人が6割、「抵抗がない」と回答した人が半数以上増えおり、1回の授業で得られた成果は大きく、市の職員の研修を行っている豊明市をモデルとして提案し、LGBT出張事業を定期的に開催することで得られる効果について、今後まとめていきたい。</p> <p>2.LGBT講演会 ・「みんなで保護者会」 医療現場に関わりながら研究者である大学教授の講演とトランスジェンダー当事者であるメンバーの講演から、その後、保護者の悩みを共有する場として対話形式としたが、講演会の参加者の親が当事者の子どもに提案してLGBT成人式に参加することになるなど前向きな行動もあり、かなり成果があったと考える。 ・NQAPIA 添付の報告書のとおり3部形式で行った。1部2部のアンケート結果ではもっと話を聞きたい、他の学校でも行うべきだという声が多かった。愛知中心の東海地域の学生や団体の参加により今後の活動への指針になった。</p> <p>3. 当事者のための企画運営 記述のアンケートによると参加者、当事者やALLYのスタッフ含め満足度高い。</p>	<p>出張授業風景</p>  <p>LGBT成人式</p> 	
<p align="center">■ 1年間の活動のまとめ</p> <p>愛知県内外の学校、行政、企業、メディアに活動が認知され、依頼案件も多種多様であり、1年間の活動を通して実績を作ることができた。その結果、愛知県や名古屋市から講演依頼が来るようになっている。</p> <p>また、6月に訪問した「NQAPIA交流会」の実績をふまえ、海外のOkaeri運営委員会からASTAに依頼があり、2020年の秋から2021年の春に「名古屋国際LGBTQカンファレンス」を予定している。現在、企画書が名古屋市内で承認を受け、名古屋国際センターの2日間の使用許可を得た。</p> <p>助成期間中は、地道な出張授業を通してメディア取材を受け、愛知県外で授業を実施し、ASTAの活動の知名度を上げることができた。保守的な愛知県の現状を打破することができ、次年度の愛知県の活動の発展に貢献できたと考える。</p>	<p align="center">■ 事業を通じて得られたノウハウ</p> <p>●メンバーが一丸となり、助成期間中は、LGBTを取り巻く急速な環境の変化について、考察することができた。 各自のメンバーの得意不得意を生かしながら、アンケートチームを創設し、スムーズに組織の運営ができるノウハウを得られた。また、多種多様な依頼に対応できるように、「小学生チーム、中学生チーム、大学生以上一般チーム、親チーム」等をつくり、「LGBT出張授業」実施対象者への細かい配慮が可能となるテクニックも得られた。 団体メンバーは、東京レインボープライドはじめ、各地の取り組みの状況を勉強し、今後の活動に必要なスキルを向上することができた。このように、団体メンバーが全国各地で学べる環境を推奨することで、団体メンバーのスキルとLGBT出張事業の質を向上することができた。</p> <p>●人材育成の手段としては、個々の経験を活かし、団体メンバーと対話と情報共有を行うことの重要性について改めて認識した。</p>	<p align="center">■ 実施した人材育成策</p> <p>・名古屋あおぞら部（若い世代の活動家や当事者の集まり）のバックアップをすることで、ASTAで活動できる人材を確保することを開始した。 ・ASTA独自でもメンバーの募集をかけて、その育成方法を構築して、2019年9月より定期的な勉強会をするシステムづくり、スケジュール管理を開始した。</p>	<p align="center">■ 活動成果のアピールポイント（自由記入）</p> <p>この1年間の活動を通じて 添付のアンケートより、出張授業の効果の大きいことと名古屋の活動が国際的な中心になろうとしているところ を達成しました。</p> <p align="center">■ 受益者の変化（効果測定結果等）</p> <p>出張授業アンケート結果より ・抵抗があるが減少 7割以上の人が抵抗がないになった。 ・少し抵抗があるが減少 6割の人が抵抗がないになった。 ・抵抗感はないという人が1.5倍になる。</p> <p>「LGBT出張授業」参加者の多くは、LGBTに対して抵抗感が減少しており、個別の感想でも「ALLY」(自分は、LGBTでは無いけれどLGBTの人たちの活動を支持し、支援している人たち)になりたいという人が増えている。この点は、講演会や成人式に参加した当事者自身の自己肯定感がアンケートの記述の中からも、実際に面しても感じ取られた。</p>	